

ステップ2 検討資料

地域づくりの目標に関する整理

～鉄道高架や関連事業について考える上で踏まえるべき地域の課題や将来像～

沼津高架 PI プロジェクトでは、頂いたご意見から地域の将来像や地域づくりの課題を読み解いた「地域づくりの目標」に関する整理を進めています。

この冊子をご覧になって、「他にもこんな視点があるのでは?」「こんな地域になって、あんなことができたらいいな!」といった具体的なイメージを教えてください。

●この冊子の見かた

**沼津駅周辺地区は
どのような地域であって欲しい
のでしょうか?**

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1. 広域的な中心に (拠点)

1-1 広域的な拠点地域に

- ・ 県東部の拠点として県東部地域に人口や産業が集積している
- ・ 広域的な拠点地域であることで多様な雇用機会がある
- ・ 都市的な利便性や医療などのサービスを十分に享受できる

■三島市等と連携して、東部の拠点都市として都市整備してほしい。	1010202
■沼津市は三島市や富士市に遅れを取っている。東部の拠点として開発を進めてほしい。	1010201
■県は東部地域にもっと力を入れて取り組んでもらいたい。	1010501
■企業を誘致し、雇用を促進したい。	1020401
■企業を誘致し雇用を促進するなど、人口を増加させることが必要ではないか。	1020501
■周辺市町の都市整備が進み、沼津市は東部の拠点ではなくなってしまったのではないか。	1010204
■若者が集まり働ける場所があるまちにしてほしい。	1010104
■若い世代が少なくなった。商業施設や大学誘致、雇用の場を創出するなど、若者が集まり、暮らしやすいまちづくりが必要ではないか。	1020503
■駅周辺に都市機能を集積させて利便性の高いまちにしてほしい。	1010301

地域づくりの目標に関する整理

『皆さんからの意見まとめ』の意見と分類コード

＝地域づくりの目標に関する整理にあたって＝

「地域づくりの目標に関する整理」は、これまでに頂いたご意見*を「地域がどのような状態になることが求められているのか」という視点で読み解き、それを「地域づくりの目標」として整理を試みたもので、ステップ2における今後の議論のための材料です。

※平成24年4月6日（ステップ2開始）～12月15日）に頂いた皆さんからの意見

これまで頂いたご意見には、地域づくりの「方法」についてのご意見が多く含まれています。

例えば、事業の是非や内容に関するご意見は、地域の将来像を実現するための「方法」についてのご意見と理解することができますが、もし、実現しようとしている地域の将来像がそれぞれ違っていれば、その「方法」を議論しても意味がありません。

そこで、現在検討を進めているステップ2では、「方法」を考える前に、前提となる地域の将来像について皆さんのお考えをまとめようとしています。

このため、これまで頂いたご意見を「地域がどのような状態になればよいとお考えなのか」という視点で読み解き、「地域づくりの目標に関する整理」としてまとめました。

(1) 地域を取り巻く状況について

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1.広域的な中心に（拠点）

- 1-1 広域的な拠点地域に
- 1-2 地域でうまく連携して

2.交流拠点として賑わう（交流）

- 2-1 交通の要衝として
- 2-2 モノの交流拠点として
- 2-3 災害時の代替機能や復旧・復興の拠点として

3.何もせずに過ごすのは問題（戦略）

- 3-1 早く結論を
- 3-2 すぐに効果が現れる対策を
- 3-3 長期的視点から抜本的な対策を
- 3-4 効果的で戦略的な投資を
- 3-5 市民と民間と行政が協力して

4.税金は効果的に使ってほしい（財政と事業効果）

- 4-1 沼津市財政に無理がないように
- 4-2 大きな費用に見合った対策を

(1) 地域を取り巻く状況について

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1.誰もが暮らしやすく（暮らし）

- 1-1 誰もが支えあえる街に
- 1-2 生活に必要な施設が揃い便利な暮らしを
- 1-3 魅力のある都市空間に

2.多くの人が集う街に（交流）

- 2-1 広域から人が集まる街に
- 2-2 かつての賑わいを
- 2-3 観光・食のポテンシャルを活かして

3.持続的な経済活動と雇用機会（産業・雇用）

- 3-1 新たな産業とビジネスを
- 3-2 商売をしたくなる街に
- 3-3 産業が集積し雇用を生み出す

4.外も中も移動しやすい（交通）

- 4-1 広域からのアクセスのよい地域に
- 4-2 駅周辺の自動車交通をスムーズで安全に
- 4-3 街なかを歩いて楽しい
- 4-4 自転車で快適に移動できる
- 4-5 公共交通が便利に使える

5.地震や津波にも強い（防災）

- 5-1 災害リスクに備えたい
- 5-2 いざ災害が起きたら避難できる
- 5-3 安心・安全で選ばれる地域に

(1) 地域を取り巻く状況について

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1. 静かで自然豊かな暮らしを（暮らし）

- 1-1 のんびりと暮らせる静かな住環境を
- 1-2 地域への愛着と誇りを大切にしたい
- 1-3 誰もが安心して暮らせる街に
- 1-4 将来を見据え計画的に

2. 人が集まる魅力ある地域に（交流）

- 2-1 豊かな地域資源を活かして
- 2-2 広域から人を呼び込む
- 2-3 賑わいを生む仕掛けを

3. 地域に活力を（産業・雇用）

- 3-1 商業に活力を
- 3-2 産業が集積し雇用を生み出す
- 3-3 「農」に関わる地域の文脈を活かして

4. 広域も南北も移動しやすく（交通）

- 4-1 広域からのアクセスのよい地域に
- 4-2 地域内を安全で快適に移動したい
- 4-3 公共交通が便利に使える

5. 水害にも津波にも強い地域に（防災）

- 5-1 災害リスクに備えたい
- 5-2 いざ災害が起きたら避難できる
- 5-3 安心・安全で選ばれる地域に

4. 進め方に関する課題の整理

…P25

1. **PIの目的を明確に** (PIの目的)
2. **解決に向けて** (対話の効果)
3. **公正で着実な議論を** (検討プロセス)
4. **幅広く意見を聴いて** (検討体制)

1. 広域レベル（テーマ①）

（1）地域を取り巻く状況について

- （地域経済）人口減少、特に生産年齢人口の減少、少子高齢化が一段と進行する中、地域経済は徐々に悪化しつつある。今後、何の対策も打たなければ、地域経済がさらに疲弊する可能性も考えられる。
- （基盤施設）新東名高速道路、中部横断自動車道、東駿河湾環状道路等の道路基盤整備が進行しており、また、富士山静岡空港やリニア中央新幹線駅との結節性も高まることから、首都圏、中部圏、甲信地方のみならず、国内外地域との広域的アクセスが大きく高まると考えられる。
- （災害リスク対策）東日本大震災後、東海地震の災害リスクに対する意識が高まっている。特に、県東部地域の沿岸部においては、津波被害に対する対応を地域づくりを前提に置くことが求められている。
- （広域的拠点）県としても、県東部地域は「日本のシンボル富士山を世界との交流舞台とした健康交流都市圏」として、コンベンション等の高次都市機能の集積を図ることで圏域の求心力を高めることとしている。

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1. 広域的な中心に (拠点)

1-1 広域的な拠点地域に

- ・ 県東部の拠点として県東部地域に人口や産業が集積している
- ・ 広域的な拠点地域であることで多様な雇用機会がある
- ・ 都市的な利便性や医療などのサービスを十分に享受できる

■三島市等と連携して、東部の拠点都市として都市整備してほしい。	1010202
■沼津市は三島市や富士市に遅れを取っている。東部の拠点として開発を進めてほしい。	1010201
■県は東部地域にもっと力を入れて取り組んでもらいたい。	1010501
■企業を誘致し、雇用を促進したい。	1020401
■企業を誘致し雇用を促進するなど、人口を増加させることが必要ではないか。	1020501
■周辺市町の都市整備が進み、沼津市は東部の拠点ではなくなってしまったのではないか。	1010204
■若者が集まり働ける場所があるまちにしてほしい。	1010104
■若い世代が少なくなった。商業施設や大学誘致、雇用の場を創出するなど、若者が集まり、暮らしやすいまちづくりが必要ではないか。	1020503
■駅周辺に都市機能を集積させて利便性の高いまちにしてほしい。	1010301

1-2 地域でうまく連携して

- ・ 県東部地域の都市が連携しながら、相互に必要な機能や役割を補完できる
- ・ 東部地域全体としての個性を引き立てながら、東部地域全体が広域的な拠点として持続的に発展できるようになる

■三島市等と連携して、東部の拠点都市として都市整備してほしい。	1010202
■三島市や県東部地域との連携が必要ではないか。	1020201

2.交流拠点として賑わう（交流）

2-1 交通の要衝として

- ・伊豆箱根地域との分岐合流点として、また、交通の要衝としての特徴を活かす
- ・今後、首都圏、中部圏、甲信地方のみならず、国内外地域との広域的な結節性が高まり、富士山、箱根、伊豆地域などへの周遊観光の拠点（ハブ）として賑わう

■新東名高速道路サービスエリアなどを活かして活性化につなげてはどうか。

1020104

2-2 モノの交流拠点として

- ・モノの流動においても、首都圏、中京圏のみならず、伊豆、岳南、甲信地方など、多方面に対しての拠点性が活かされる
- ・拠点性を求めて多くの企業が立地し、税収や雇用、賑わいが生み出される

■通運事業者にとっては、貨物駅移転はコストアップになるが、廃止または他地区移転の場合は、営業ができなくなる恐れもある。	1050407
■物流機能を沼津に集約すれば、物流の効率化や環境に良い影響があると思う。	1040101
■貨物輸送は、長距離輸送のコストが安く、CO2 排出量もトラックの 1/6 程度で済むため環境にやさしい。	1050402
■物流機能を沼津に集約すれば、物流の効率化や環境に良い影響があると思う。	1040101
■貨物の取扱量が減っているのだから、貨物駅の規模を縮小すれば良いのではないか。	1050410
■荷物の取扱量が減っている状況下で新たな貨物駅が必要だとも、海が近い原地区が適切な立地だとも思えない。	3070105
■駿河湾沼津サービスエリアにスマートインターを設置し、新貨物駅とつながれば、物流の拠点ができ、企業の誘致が期待できる。	1050403

2-3 災害時の代替機能や復旧・復興の拠点として

- ・多方面にアクセス軸を持つことを活かし、今後予想される首都圏や東海・東南海地域での大規模地震においても、救援物資・復旧物資のライフラインを提供できる
- ・復興過程においても、代替的にサプライチェーンを提供できる

■物流機能を沼津に集約すれば、物流の効率化や環境に良い影響があると思う。	1040101
■駅周辺総合整備事業に、新しい必要性として高まってきた防災対策の視点を盛り込んでほしい。	2050101
■地震や津波対策の予算を強化し、津波被害を想定した都市整備や市街地開発を進めてほしい。	2050104

3.何もせずに過ごすのは問題（戦略）

3-1 早く結論を

- ・地域の抜本的な都市整備についていつまでも結論が出ない状態が続くと、民間投資が逃げ地域経済が衰退を招きかねない
- ・どのような対策を行うのか、早く結論を出して先に進める

■高架事業が進まないために、まちへの投資が滞ってしまっており、それが開発の遅れやまちの老朽化というマイナスを生んでしまっていると思う。	2070205
■財政状況が厳しくなるまえに、何らかの対策を打ってほしい。	1060107
■高架化するにせよしないにせよ、早く意思決定してほしい。	1050501
■高架化するかしらないかの結論を早く出してほしい。	2070101
■事業に協力し、苦勞して移転した人の気持ちを考えて、早く実現に向けて動いてほしい。	2070206
■多数の意見を反映させて行政に早く決断してほしい。	3070402
■貨物駅を移転するかしらないかの決定までに時間がかかりすぎている。	3080101
■原地区の地域づくりでは、計画されてもなかなか進まないものが多く、時間がかかりすぎている。	3080201

3-2 すぐに効果が現れる対策を

- ・商業活性化や交通面の対策など、手遅れになってしまわないよう、早急に結果が現れる対策を取って、いち早く衰退の流れを止める

■まちの衰退に歯止めをかけ、渋滞を解消するために、早く事業を進めてもらいたい。	1050502
■事業の完了までに30年もかかると効果が実感できない。事業期間中でも効果が発揮できるようにしてほしい。	1050601
■構想段階から現在まで時間がかかりすぎしており、高架事業が進まないために都市計画が進まない状況になっている。時間をかけずに進めてほしい。	2070201
■高架化事業は完成まで30年もかかるのでは、効果が実感できず、関心が薄れる。	2070202
■商業活性化や交通利便性などを考えると、高架事業の着工や完成を待ってられない。仮設でも良いので橋上駅や南北自由通路などの整備を進めてほしい。	2070203
■高架事業は時間がかかりすぎる。事業の縮小や橋上駅整備等の等の方法に変更して早く対策をとってほしい。	2060305
■高架化ではなく南北自由通路を整備する方が良い。一刻も早くつくって南北の行き来ができる様にしてほしい。	2060306
■高架化は進める必要があると思うが、完成までに時間がかかりすぎるので、完成前であっても南北通路等の対策を進めてほしい。	2060307
■中心市街地活性化策が講じられるまで商店街が耐えられるのか心配だ。	2040113
■日に日に衰退しているまちの状況を考えると、完成までに時間のかかる高架化よりも、もっと早くできる事業を進めた方が良いと思う。	2070207

3-3 長期的視点から抜本的な対策を

- ・ その場限りの対症療法的な対策に終始するのではなく、時間がかかっても長期的な視点からの抜本的な地域づくりに腰を据えて取り組む

■土地区画整理事業は現状では中途半端だ。事業を進めてほしい。	2060402
■高架事業は、長期的な視点に立てば、費用対効果が高く、無駄な投資ではない。	2060310

3-4 効果的で戦略的な投資を

- ・ やみくもに単発的な対策を打つのではなく、長期的で総合的なビジョンのもと、戦略的な地域づくりを進める
- ・ インフラの整備に伴う波及的な効果をうまく活かして、公共や民間の投資が無駄なく効果的に見える

■高架下の空間利用をどう地域活性化にむすびつけるかなどの議論も事業と同時進行で進めてほしい。	2060702
■ハード事業を行っただけでは活性化しない。合わせてソフト施策が必要だと思う。	1010401
■沼津市は長期的なビジョンをもってまちを考えてほしい。	2010201
■沼津市は将来的なまちづくりや財政の長期的・短期的ビジョンを持ち、それを示してほしい。	1010101
■沼津市は将来を見据えた原地区のランドデザインを示してほしい。	3010201
■財政状況が厳しい中でも、鉄道高架事業は先行投資だと考えて実施してほしい。	1060106
■高架事業を行い、インフラを整備すれば沼津市が活性化するわけではないと思う。	2060103
■総合整備事業を計画した時と今ではまちの状況が変化しニーズも変わってきているので、改めて戦略を考える必要があるのではないか。	2060104
■新東名高速道路サービスエリアなどを活かして活性化につなげてはどうか。	1020104
■南北が分断されたままでは、コンベンション施設の十分なまちへの波及効果が期待できないのではないか。	2040303

3-5 市民と民間と行政が協力して

- ・ 行政が責任を持って意思決定する
- ・ 市民や民間とうまく協力し合って地域づくりを進めていく

■最終的には行政が責任を持って判断を下して欲しい	4010703
■県と市が足並みを揃え、もっと連携してPIや事業に取り組んでもらいたい。	4010802
■市民がまちづくりに関心をもって、県、市と一緒に取り組むべきではないか。	1010503
■東部の拠点都市として活性化するには、行政と企業や市民が連携する必要があると思う。	1010504
■商業の活性化のためには、個々の店舗のやる気と努力はもちろん、全体をコーディネートする組織やしくみを作って、商店街が一体となって動くことが大切ではないか。	2040112
■住民、行政、事業者などの様々な関係者が一緒になって駅周辺の活性化について話し合う場と、それを取りまとめ、まちのランドデザインを描ける専門家が重要ではないか。	2060703
■原地区の方向性を住民が一体となって考え、地域の声を行政に伝えていく必要があると思う。	3010208

4.税金は効果的に使ってほしい（財政と事業効果）

4-1 沼津市財政に無理がないように

- ・今後の地域づくりが沼津市の財政に大きな負担となり、他の政策に財源が回らなくなるなどの無理が生じない

■高架化するよりも地震・津波対策に予算を使ってほしい。	1030202
■事業費が大きく、沼津市の負担が多すぎないか不安である。事業費、費用負担、補助金の仕組みなど、正確な情報を示してほしい。	1050201
■高架化することで市の財政状況が悪化しないか心配だ。	1060101
■高架以外の事業が進まなくなることが心配だ。地震対策や福祉政策を重視してほしい。	1060102
■貨物駅の計画規模が大きすぎて今の社会経済状況や需要に則さないのではないか。	3070301
■事業を進めることによって、今後、市民の税負担が増えないか心配だ。	1060103

4-2 大きな費用に見合った対策を

- ・地域づくりのための大きな投資は、その波及的効果も含めた便益が総体的にどのくらい広がりをもち、費用負担に見合うだけの投資なのかを十分に吟味する
- ・その説明についてもきちんと納得できる

■高架化は事業費をかけてでもやるだけの価値がある。	1050202
■高架事業は、長期的な視点に立てば、費用対効果が高く、無駄な投資ではない。	2060310
■公表されている費用対効果（B/C）の結果は本当か。市の活性化に結び付くような、費用に見合った効果があるのか疑問である。	1050301
■高架化したからといってまちが活性化されるわけではない。より少ない事業費で大きな効果をあげる方法を考えてほしい。	1050303
■社会資本整備が進み、経済効果も期待できることを考えれば、高架にかかる投資はむだにはならない。	1050304
■高架事業は、鉄道利用が減少しているなか、費用に見合うだけの効果が得られないと思う。見直しが必要ではないか。	2060312
■高架事業は、予算に見合う効果を得られる事業でなくてはならない。	2060311
■事業を途中で止めた場合、これまでの投資が無駄になってしまうのは困る。	1060104
■費用に合った効果があるのか検証し、議論してもらいたい。	1050302
■事業概要や事業メリットについて分かりやすい説明やPRが必要だ。	2060301
■高架事業の目的と意義、必要性、効果などについて納得できる説明がされていない。それらをきちんと示してほしい。	2060302
■計画当初から大きく社会情勢が変化しており、鉄道高架事業の必要性はないのではないか。	2060309
■高架事業に対する知識や関心もあまりないので、事業の是非を考えるのが難しい。	2060313
■駅北の再開発事業がどのような事業なのか分からない。PRが不足している。	2060502

2. 沼津駅周辺（テーマ②地区レベル）

（1）地域を取り巻く状況について

- （人口減少・少子高齢社会）沼津駅周辺の中心市街地の人口は、長期的には減少傾向。沼津駅周辺の人口の呼び戻しや商業活性化など、地域活性化への取組みが必要な状況。
- （広域的拠点として）人口減少時代を迎え、産業構造にも大きな変化が想定される中、沼津駅周辺においても、県東部地域の拠点的地域と位置づけ、それに相応しい都市整備を進めるかどうかの分岐点にある。
- （観光・食）沼津駅周辺では、観光・食などの新たな発展が期待されるが、それを活かしていない。
- （新たな産業振興）県東部地域『ファルマバレープロジェクト』（医療・福祉・健康分野の産業振興）構想に期待が寄せられている。
- （周辺での社会基盤整備）東駿河湾環状道路の整備が予定されており、県東部地域では首都圏からのアクセス向上が期待される。
- （地域の交通）沼津駅によって、市街地の南北交通が分断され、自動車、歩行者・自転車交通の利便性や安全性に課題が指摘されている。
- （災害リスク対策）東日本大震災以降、想定を超える被害を懸念する声もあり、沼津駅周辺でも、地震や津波などの災害リスクがあれば対応が必要。

(2) 地域づくりの目標に関する整理

1.誰もが暮らしやすく (暮らし)

1-1 誰もが支えあえる街に

- ・地域コミュニティが充実し、子供から子育て世代から高齢者までの様々な世代が集まって暮らし、様々な場面で相互に支えあいながら暮らせる

■子育て世代やあらゆる世代にとって安心安全で住みやすく、満足度の高いまちづくりをし、人口の増加を図ってほしい。	2010208
■若者が集まり、働き遊ぶ場所がある、若者にとって住みやすいまちにしたい。	2010210
■まちなかに人が住み、快適に生活できる環境を整えてほしい。	2010305
■富士見町は、区画整理によってコミュニティ分断され住環境が悪化してしまった。	2060403
■区画整理された土地がどうなるのか知りたい。	2060404
■高齢者や子供が暮らしやすいまちにしてほしい。	1010105
■多様な世代が暮らしやすいまちにしてほしい。	1010106
■少子高齢社会対策として、子育てしやすいまちづくりを進めてほしい。	1020502

1-2 生活に必要な施設が揃い便利な暮らしを

- ・生活に必要な様々な施設（百貨店、専門店、医療施設、教育施設、文化施設、その他サービス施設など）が身近な地域に集積している
- ・車が無くても便利で無駄が無く、歩いて暮らせる

■公共的な都市機能を集約させて利便性の高いまちにしたい。	2010301
■駅を中心として買い物などができるコンパクトなまちづくりを考えたい。	2010302
■駅周辺に体育館や音楽施設などの文化施設や行政施設をつくってほしい。	2010406
■人が集まる大型の複合的な商業施設を中心市街地に立地させてほしい。	2010404
■現況でも駅周辺は行政施設、企業、店舗が集積した拠点となっている。	2010304
■物販に頼るのではなく、行政、医療などの公的サービスや文化、教育でまず人を集めることが重要だ。	2010213
■高度な専門性のある医療施設ができれば、広域からも人が集まり、まちへの波及が期待できるのではないか。	2010413
■高齢者が楽しめる施設を整備するなど、高齢者を重視したまちづくりを進めてほしい。	1020504
■歩いて暮らせるまちにしてほしい。	1010303
■駅周辺は買い物などの利便性がよいエリアである。	2040101
■沼津駅周辺での買い物が不便だ。	2040102

1-3 魅力のある都市空間に

- ・街の中に水辺や緑が溢れ日々の暮らしに潤いを
- ・昔からあった地域固有の風景や資源（沼津港や狩野川沿い、昔からの街並みなど）が地域や歴史を感じられる場として大切にされる
- ・生活者にとっても、来訪者にとっても潤いや憩いがある
- ・魅力的な都市空間が沼津の街の特徴として認識され、生まれ育った者として誇りに思える

■ゆったりと回遊できる、歩いて楽しいまちづくりを目指す。	2010206
■子供が遊べたり、憩いの場となる公園の様な場所をつくってほしい。	2010409
■港や昔からの街並み、自然環境などの地域資源を活かし、それらを結ぶことで活性化を図る。	2010205
■南北の市街地が線路や川で分断されているので別々のまちの様になっている。一体的なまちづくりを考えてほしい。	2010501
■沼津駅舎は古く魅力がないので更新してほしい。	2060001
■高架化により景観が悪くならないか心配だ。	2060002
■高架化によって富士山の景観が悪化するのではないかと心配している。	2060317
■事業の進捗が遅く、一等地の区画整理対象地が何も利用されずもったいない。	2060401
■土地区画整理事業は現状では中途半端だ。事業を進めてほしい。	2060402
■将来の世代が誇りを持って暮らせるまちづくりを進めることが必要だと思う。	1010110
■駅に降りた最初のイメージをアップし、インパクトを持たせるために、駅舎や駅ビル、駅前広場をデザイン性の高いものにしてほしい。また、眺望にも配慮してほしい。	2010412

2.多くの人が集う街に（交流）

2-1 広域から人が集まる街に

- ・ 周辺都市と役割を連携して相互に行き来がある
- ・ 広域から幅広い世代が集まり、活気に溢れ、賑わいがある
- ・ 広域から人が集まることで東部地域全体の発展にも貢献する

■三島や函南などの周辺都市との連携を考え、広域的な視点からのまちづくりを進めてほしい。	2010102
■沼津の地の利や特性を生かした施設立地を考えてほしい。	2010402
■新幹線が停まらないことで利便性が低くなり、人の流れが変わった。	2020503
■沼津市は三島市や富士市に遅れを取っている。東部の拠点として開発を進めてほしい。	1010201
■既に東部の拠点は三島駅に移っているので、三島駅を高架化してはどうか。	1010203
■駅周辺には市町の範囲を越えて必要な、広域からも人をひきつける施設が必要だと思う。	2010414
■コンベンション施設で集客を図ることを期待している。	2010405
■商業、娯楽施設や大学等を立地させて、若者が集まり楽しめるまちにする。	2010407
■若者だけでなく大人や高齢者が楽しめる施設をつくってほしい。	2010408
■コンベンションセンターを作っても集客の効果が見込めるのか疑問だ。	2060503
■高架事業と周辺の区画整理事業により、一体的なまちづくりの実現や新しい商業施設の立地、駅周辺への集客が期待できる。	2060201
■再開発事業で商業施設が集積されることで、まちが活性化するのはないかと期待している。	2060501
■高架事業では沼津駅周辺は活性化しないのではないかと。活性化のための施策を行ってほしい。	2060304
■高架化で駅の利便性を向上させ、生まれたスペースを商業、観光、文化施設、駐車場に利用するなどによって、まちを活性化させたい。	2010411
■世界と競争するには、沼津のコンベンションセンターでは狭すぎるのではないかと。	2040204
■南北が分断されたままでは、コンベンション施設の十分なまちへの波及効果が期待できないのではないかと。	2040303
■新車両基地予定地を新たな産業のための施設や市民のための施設として利活用してはどうか。	2060601
■物販に頼るのではなく、行政、医療などの公的サービスや文化、教育でまず人を集めることが重要だ。	2010213
■高度な専門性のある医療施設ができれば、広域からも人が集まり、まちへの波及が期待できるのではないかと。	2010413
■東部地域の拠点都市として、集客効果の高い施設をつくり、開発を進めてほしい。	2010101
■東部の拠点都市にふさわしい、まちに活気を取り戻すための目玉となる場所が必要ではないかと。	2010401
■県東部の拠点地域にふさわしいまちになるには、高架化で沼津駅周辺を活性化することが必要である。	2060303

2-2 かつての賑わいを

- ・街なかの住民だけでなく、周辺都市や近郊地域から買い物客や来訪者が集まる
- ・商店街が賑わっている
- ・その賑わいに惹かれて、さらなる人やビジネスが集まり、一層の賑わいが生まれる

■まちに来る目的や楽しみがなく、商店街にも魅力がないので足が遠のく。	2010204
■商業施設と駐車場を一体化して賑わいの拠点をつくってはどうか。	2010303
■無料または格安で利用できる駐車場が少なく、駅前に買い物に来づらい。	2040106
■大型の商業施設など、商業の核となる集客力のある施設が必要だと思う。静岡や東京に流れていた買い物客を取り戻してほしい。	2040108
■個々の事業同士のすり合わせを図りつつ、ハードだけではなく人を集めるソフトを考えなければまちは活性化しない。	2010601
■大型商業施設の誘致など商業を集積して、商業を核としたまちづくりを進めてほしい。	2010207
■郊外に魅力があり駐車場も整備された店舗ができたので、中心市街地に行く必要がなくなった。	2040110
■商店街は以前の様な活気がなく、まちに賑わいがなくなってきていることが残念だ。活気が戻ってほしい。	2010203
■空き店舗の有効活用などによる商業活性化の取り組みを進めてはどうか。	2010602
■沼津駅前の商店には、若者や高齢者など各ターゲットに合った魅力のある店が少ない。	2040105
■商業活性化のビジョンを持って、空き店舗対策やソフト施策を考える必要があるのではないか。	2040107
■鉄道の高架化による商業施設の集積や南北の一体化によって、まち賑わいが生まれることを期待する。	2040109
■駅北での買い物が多くなり、駅南に活気がなくなってきた感じがする。	2040103
■沼津駅前の商業が以前に比べて衰退しており、人出や活気が減った。	2040104
■総合整備事業によって生まれる新たな土地の利用と共に、既存の商店街、空き店舗などの活用も考える必要があると思う。	2060202
■高架事業では沼津駅周辺は活性化しないのではないか。活性化のための施策を行ってほしい。	2060304
■シンボリックでブランド力のある大型店舗の撤退によって商店街がますます衰退してしまうのではないか、跡地はどうなるのかと不安になる。	2040111

2-3 観光・食のポテンシャルを活かして

- ・富士山や伊豆地域など周辺観光地に広く国内外から訪れる観光客が、沼津の街にある地元資源（沼津港や狩野川沿い、古くからの街並み、海の幸などの食等）に惹かれ、周遊観光の拠点(ハブ)として集まってくる
- ・温暖な気候や歴史・文化資源、自然環境や豊かな農海産物など、地域の良さを国内外の多くの人を知り、観光やビジネス、また、保養や療養に訪れ、そして移住してくる

■ 中心市街地の資源の活用、港との連携、土産物の開発による商業活性化などにより賑わいを取り戻したい。	1010402
■ 観光ルートの検討や観光資源のPRを積極的に行い、国内外の観光客を呼び込んでどうか。	1010403
■ 観光の目玉となるイベントやルートを考え、ソフト施策を充実させる。	2010603
■ 港や昔からの街並みなどの地域資源を活かし、それらを結ぶことで活性化を図る。	2010205
■ 港ならではの海や魚などの観光資源を活かしたい。	2040201
■ 富士山や海岸線などの自然、景観を活かした観光で国内外からの観光客誘致を図ってどうか。	1020105
■ 観光の目玉やおみやげ、イベントなどを考え、まちに観光客を呼び込む工夫が必要だと思う。	2040203
■ 回遊軸を作ることなどによって、港を訪れる観光客を駅周辺に誘導したい。	2040206
■ 沼津市の特性や、それぞれの地区の特性を活かしたまちづくりを目指す必要があると思う。	1010102
■ 温暖な気候を生かし、住みやすいまちを目指したい。	1010103
■ 歴史や自然を活かしたまちを目指してほしい。	1010107
■ これまでの歴史・文化だけでなく、新しい視点でまちづくりを考えることも必要だと思う。	1010108
■ 港などの資源を活用した観光の目玉をつくり、観光まちづくりを目指してはどうか。	1010109
■ 他のまちにはない地域資源があるはずだが活かされていない。	1020101
■ 豊かな歴史・文化や、富士山、沼津アルプス、沼津港、千本浜などの恵まれた地域資源があることを活かし、積極的にPRして活性化させたい。	1020102
■ 農作物や海の幸などの名産品を地域資源として活かしてほしい。	1020103
■ 観光で訪れる人に対するもてなしの心があるまちになる様に、観光案内施設や飲食店、サービスなどを充実させることが大事だと思う。	2040205
■ 子育て世代やあらゆる世代にとって安心安全で住みやすく、満足度の高いまちづくりをし、人口の増加を図ってほしい。	2010208
■ 若者が集まり、働き遊ぶ場所がある、若者にとって住みやすいまちにしたい。	2010210
■ シンボリックでブランド力のある大型店舗の撤退によって商店街がますます衰退してしまうのではないかと、跡地はどうなるのかと不安になる。	2040111

3.持続的な経済活動と雇用機会（産業・雇用）

3-1 新たな産業とビジネスを

- ・医療や健康関連産業をはじめとして、新たな時代に対応した多様な企業が集積し、地域に賑わいが生まれる

■企業誘致など新たな産業を創りだし、人口を増加させることが必要だと思う。	2040301
■医大の誘致によって医療産業の創出を図ってはどうか。	2040302

3-2 商売をしたくなる街に

- ・多くの人に住まい、また、従業者や来訪者が継続的に集まることで、持続的に商売が成り立つ環境がつくられ、商業活動が活性化するとともに、新たな投資も進み、地域経済に好循環が生まれる

■高架事業が進まないために、まちへの投資が滞ってしまっており、それが開発の遅れやまちの老朽化というマイナスを生んでしまっていると思う。	2070205
---	---------

3-3 産業が集積し雇用を生み出す

- ・これからの時代の新たな産業が立地する
- ・多様な企業が集積する
- ・地域に持続的に雇用が生み出される

■医大の誘致によって医療産業の創出を図ってはどうか。	2040302
■企業を誘致し、雇用を促進したい。	1020401
■企業を誘致し雇用を促進するなど、人口の減少を食い止め、増加させる手立てをうつことが必要ではないか。	1020501
■若者が集まり働ける場所があるまちにしてほしい。	1010104
■若い世代が少なくなった。商業施設や大学誘致、雇用の場を創出するなど、若者が集まり、暮らしやすいまちづくりが必要ではないか。	1020503
■雇用を創出できる場をつくってほしい。	2010403

4.外も中も移動しやすい（交通）

4-1 広域からのアクセスのよい地域に

- ・新東名高速道路など広域的な道路網との結節性が高まり、首都圏、中部圏、甲信地方から沼津駅周辺や沼津港へのアクセス性が高まる
- ・多方面からのアクセス性を活かして、沼津で滞在する人が増える

■東名サービスエリアがあることを活用し、沼津港や市街地とのアクセスを向上させてほしい。	2020501
■周辺の観光地へのアクセスの良さを活かし、観光の玄関口となり、通過する街ではなく滞在するまちにする。	2020502

4-2 駅周辺の自動車交通をスムーズで安全に

- ・沼津駅南北交通に起因する渋滞が解消される
- ・駅周辺の自動車交通の循環やアクセスが改善される
- ・大型車両や緊急車両の通行に支障がない
- ・大雨などの気象条件で通行が妨げられることがない
- ・南北方向の通行に支障がない

■南北の渋滞はガードのせいだけではなく、ガードがなくなれば解消するものでもない。耐えられないほどの渋滞でもないのではないか。	2020203
■東駿河湾環状道路の西側未整備区間が整備されれば、東西の交通渋滞は解消されるのではないか。	2020204
■ガードの混雑、開かずの踏切等、南北交通が不便なので高架化してほしい。	2020306
■周辺道路を整備して渋滞を解消してほしい。	2020202
■南北の分断の原因にもなっているため、貨物駅は沼津駅周辺に立地せずともよいのではないか。	1050411
■高架化以外にも渋滞などの課題を解決する策は考えられるのではないか。	2060316
■整備途中で一方通行の道が多く、道路のネットワークが形成されていない。	2020101
■南北道路の本数が少ないことに加え、東西、南北の道路も整備が不十分である。	2020102
■道路が狭いため、渋滞を引き起こしたり、救急車両が通れないという問題が起きている。	2020103
■三ツ目ガードなど線形の悪い道がある。	2020104
■高架化により周辺道路の整備が進むことに期待する。	2020106
■東西、南北方向の道路の整備が進んでおらず、一方通行が多いなど、市内の道路が走りにくい。	2020303
■路面の状況や信号機の位置に問題がある場所があり運転するのに危ないと感じる。	2020403
■急勾配、カーブ、道が狭いなど、道路の構造に問題がある場所があり事故が心配だ。	2020404
■駐車場が店舗や駅から離れていたり、無料の駐車場が少ないために、中心市街地に車で行きづらい。	2020304
■高さ制限のない道をつくり、大型車が通行できる道を増やしてほしい。	2020105
■南北を行き来するためのガード付近の渋滞がひどい。バスの定時制が図られないし、緊急車両が通れないのではないかと心配である。	2020201
■ガードが大雨の際に冠水するので危険だと思う。	2020401
■高架化によるガードの冠水解消に期待する。	2020402
■鉄道高架により、冠水の被害が軽減されることをもっと広報活動した方がいい。	1030204
■冠水対策としては高架化以外の対策も考えられるのだから、それを高架の必要性として主張すべきではないと思う。	1030205
■車で南北を行き来する際に不便を感じる。	2020301
■車で南北を行き来する際に不便だとは思わない。	2020302
■高架化以外の方法でも南北交通などの課題は解消されるのではないか。	2020307

4-3 街なかを歩いて楽しい

- ・ 駅の南北を安全で快適に歩いて移動できる
- ・ 街の中の緑や水辺、小径や広場などを経由しながら楽しく散策できる
- ・ 高齢者、妊婦、乳幼児、車イス利用者も南北の往来がしやすい
- ・ 誰もがゆったりと回遊でき、歩いて暮らせる
- ・ 街中の建物の老朽化や災害時の延焼などの被害が心配

■料金を払って駅構内を通過しなくてはならなかったり、ガードの坂がきついなど、徒歩で沼津駅南北の行き来がしづらい。	2030101
■南北往来の利便性を高めるために、歩行者と自転車用の自由通路を早期に整備してほしい。	2030103
■歩行者や自転車の南北の行き来が不便なので高架化してほしい。	2030104
■通学路やガードの歩道が狭く、歩いている際に自転車が横をすり抜ける際などに危険を感じる。	2030201
■まちに人通りが少なく、ガードも暗いので夜の通行が怖い。	2030202
■橋上駅整備は、上下移動を伴うため車イス・妊婦・高齢者にやさしくないのではないか。	2030106
■街の中の緑や水辺、小径や広場などをゆったりと回遊できる、歩いて楽しいまちづくりを目指す。	2010206
■高齢者が歩きやすく、いつまでも安心して住み続けられるまちにしたい。	2010209
■歩いて暮らせるまちにしてほしい。	1010303
■自動車優先から、歩行者、自転車にやさしいまちづくりに転換するのが良い。	2010212
■まちに老朽化している建物があり心配だ。耐震性や防災機能を向上すれば歩行者も安心して歩けるのではないか。	2030205

4-4 自転車で快適に移動できる

- ・ 自転車で、駅周辺の要所を快適で安全に素早く移動できる
- ・ 自転車で気軽に來れて、気持ちよく走れる
- ・ 居住者だけでなく、観光客も自転車で周遊できる

■まちなかに無料の駐車場や駐輪場を作り、まちに車や自転車で来やすい環境を整備してほしい。	2010410
■自転車道や駐輪場の設置により、自転車が利用しやすい環境を整備して、自転車で来やすいまちにしたい。	2030105
■沼津市内を安心して自転車で走れない。	2030203
■自転車でのガードの通行が危険なので、高架化してほしい。	2030204
■南北自由通路などの代替案では、自転車の通行ができないし、駅の南北を一体化し、まちの活性化に結び付けるためには高架する必要があると思う。	2060308
■踏切の待ち時間が長く、ガードは自転車を降りて通らなくてはならないなど、自転車での南北の行き来が不便だ。	2030102
■南北往来の利便性を高めるために、歩行者と自転車用の自由通路を早期に整備してほしい。	2030103
■歩行者や自転車の南北の行き来が不便なので高架化してほしい。	2030104
■まちなかでの自転車の利便性を向上してほしい。	1010302
■自動車優先から、歩行者、自転車にやさしいまちづくりに転換するのが良い。	2010212
■レンタサイクルを使って観光地を巡れるようにするなど、自転車を観光の活性化に活用したい。	2030107

4-5 公共交通が便利に使える

- ・生活者や従業者や来訪者のちょっとした移動に、時間に正確で便利に使える公共交通網がある

■公共交通を充実させるなど環境保全型のまちづくりを進めてほしい。	2010211
■新幹線やバスなどの公共交通の便が悪い。	2020305
■南北を行き来するためのガード付近の渋滞がひどい。バスの定時制が図られないし、緊急車両が通れないのではないかと心配である。	2020201
■地域の実情に合わせた、通勤通学、買い物の足になる公共交通システムがあると良い。	2010415
■料金を払ったり回り道することなく沼津駅南北の行き来ができ、駅北口からのバス便も増やすことができる様になると良い。	2030108

5.地震や津波にも強い（防災）

5-1 災害リスクに備えたい

- ・地震・津波等が発生した際の災害リスク（津波、津波による川の氾濫、液状化、建物の倒壊等）その他の大規模自然災害に対して、命を守れる

■ 駅周辺総合整備事業に、新しい必要性として高まってきた防災対策の視点を盛り込んでほしい。	2050101
■ 沼津市のまちづくりとしては高架化よりも防災対策の方が優先順位が高いと思う。	2050102
■ 津波被害は現在の被害想定に基づく対策で充分なのか不安だ。	2050103
■ 地震や津波対策の予算を強化し、津波被害を想定した都市整備や市街地開発を進めてほしい。	2050104
■ 津波による川の氾濫が心配だ。	2050105
■ 沼津駅前には地盤が悪く液状化が心配だ。高架した際の駅の耐震性にも不安がある。	2050106
■ 駅周辺の区画整理や道路の整備、防災対策として総合整備事業が必要だ。	2060102
■ 大雨による川の氾濫、浸水が心配なので、治水対策を進めてほしい。	2050301
■ 地盤が悪いため、地震により高架が転倒するのではないかと不安だ。	1030203
■ 地震による津波・液状化が心配だ。	1030101
■ 防災意識が高まっているタイミングであることを踏まえ、防災対策をしっかりと考えてほしい。	1030201
■ 高架化するよりも地震・津波対策を優先してほしい。	1030202
■ 国の補助金は、鉄道高架事業ではなく震災復興にまわす方が良いと思う。	1060105
■ 鉄道高架により、冠水の被害が軽減されることをもっと広報活動した方がいい。	2050303
■ 鉄道高架によって、防災性の向上、冠水の被害の軽減、バリアフリー化などができると思う。	2060314

5-2 いざ災害が起きたら避難できる

- ・地震や津波の際の避難が確実に行なえる
- ・災害時に南側から北側にスムーズに避難できる

■ 駅南からの避難には鉄道駅がネックになるのではないかな。	2050201
■ 高架した駅施設を災害時の避難施設として利用できないかな。	2050202
■ 高架施設を避難施設や防波堤にする等、高架事業が災害対策につながることを期待する。	2050203
■ 津波があった際に自動車での避難路を確保したい。	1030102

5-3 安心・安全で選ばれる地域に

- ・減災対策や避難対策がなされ、安心して暮らし働き続けられる地域として認識され、企業にも選ばれる

■ 企業を誘致し雇用を促進するなど、人口の減少を食い止め、増加させる手立てをうつことが必要ではないかな。	1020501
■ 雇用を創出できる場をつくってほしい。	2010403
■ 企業誘致など新たな産業を創りだし、人口を増加させることが必要だと思う。	2040301
■ 駅周辺総合整備事業に、新しい必要性として高まってきた防災対策の視点を盛り込んでほしい。	2050101

3. 原地区（テーマ③地区レベル）

地域を取り巻く状況について

- （社会基盤整備）原地区周辺では、新東名サービスエリアが開設し、今後は東駿河湾環状道路の沼津岡宮 IC 以西区間整備やスマートインター設置などが計画されている。
- （地域資源）原地区には、温暖な気候、歴史文化的資源、景観資源などの地域資源が多くあり、これらをどのように地域づくりに活かしていくのが課題である。
- （雇用・産業）農業の後継者不足や商業の衰退、雇用不足など、産業振興も課題となっている。
- （医療・福祉・健康関連産業）また、県東部地域での『ファルマバレープロジェクト』の推進を背景に、医療・福祉・健康など、新たな産業振興が期待される。
- （災害リスク対策）原地区は、これまで水害に悩まされた地域であり、引き続き放水路の整備が必要とされる。また、東日本大震災以降のリスク評価に基づき、これまでの予測以上の災害・津波リスクが懸念されるが、原地区においても新たな災害リスクがあれば対応が必要である。

地域づくりの目標に関する整理（原地区）

1. 静かで自然豊かな暮らしを（暮らし）

1-1 のんびりと暮らせる静かな住環境を

- ・ 静かで自然豊かな住環境の中で、のんびりと暮らせる
- ・ 乱開発から地域の大切な景観や生態系が守られる
- ・ 地域のコミュニティの良さが引き継がれる
- ・ 自然環境を守ることが、観光資源を活かすことにもつながる

■ 静かで自然豊かな環境を残し、富士山の景観や納園としての歴史ある水田や耕作地を守りたい。	3010202
■ いまのままの原地区の静かで穏やかな環境や景観、豊かな自然環境を残したいので、貨物駅は整備して欲しくない。	3070201
■ のんびりした風土で暮らしやすい環境を維持してほしい。	3040101
■ 現在の豊かな自然環境を保全してほしい。	3040401
■ 開発によって農地が無くなったり、荒らされてしまうことが残念だ。	3030502
■ 大気を浄化する作用のある千本松原を保全してほしい。	3030101
■ 貨物駅設置によって住環境等の環境への悪影響がでることが心配だ。	3070203
■ 貨物駅の移転によって騒音や振動の問題が起こるのではないか。	3030201
■ 貨物駅による音や排ガスの影響はあまりないのではないか。	3070204
■ 農業が成り立ちにくくなる状況を踏まえると、農地を集約させながら保全する必要があるのではないか。	3030503
■ 開発によって農地が無くなったり、荒らされてしまうことが残念だ。	3030502
■ 原地区は沼津市と合併したメリットを感じられるようにしてほしい。	3010204
■ かつては貴重な野鳥も多く生息しており、近年また野鳥が増えてきていると聞くので、野鳥の保護にも配慮してほしい。	3040403
■ 昔ながらのコミュニティの良さを大切に、安心して静かに暮らせるまちにしたい。	3010206
■ 昔ながらのコミュニティが残っているのは原の独自性だと思う。	3040203
■ 観光資源としての活用を考えた上でも、自然環境の保全は重要だと思う。	3040402

1-2 地域への愛着と誇りを大切にしたい

- ・ 古くからの由緒ある歴史的資源や、富士山や松原のすばらしい景観に恵まれたこの地域に、愛着と誇りを持って生活できる

■ 大正天皇の納園としての歴史ある農地に誇りを持っている。	3050101
■ 原地区から見える富士山や松原の景観がすばらしい。	3040301
■ 地域の宝である寺や街並み、景観を守るだけでなく、積極的に活用することで地域振興に結び付けた	3040302
い。	

1-3 誰もが安心して暮らせる街に

- ・地域の中で高齢者だけでなく若者や子どもも住まうとともに、健康や医療が充実し、どの世代も安心して暮らせる

■高齢者や子供が暮らしやすいまちにしてほしい。	1010105
■多様な年代が暮らしやすいまちにほしい。	1010106
■少子高齢社会対策として、子育てしやすいまちづくりを進めてほしい。	1020502

1-4 将来を見据え計画的に

- ・浮島地区も含めた広がりのあるランドデザインのもとで、地域のことを考えたい
- ・計画的にコンパクトな市街地が形成されることで、これ以上無秩序な開発が広がることなく、街路や下水などの新たなコストが抑えられる

■乱開発を防止し、既存資源を十分活用していくためにも、将来を見据えた原地区のランドデザインを示してほしい。	3010201
■開発の余地がある地域であり、地域の人が夢を持てる開発を進めてほしい。	3010205
■南北をつなぐ道を整備し、農地を転用することで、原地区の北側の土地を有効利用してほしい。	3010501
■市街地を無節操に拡大しないで、人が住む場所を集約したコンパクトな地域にほしい。	3010301

2. 人が集まる魅力ある地域に（交流）

2-1 豊かな地域資源を活かして

- ・納園や寺や庭などの固有の歴史・文化資源、豊かな自然環境、富士山や松原の景観などの魅力を知ってもらい、多くの人に訪れてもらえる
- ・富士山に因んだ施設（例えば富士山世界遺産センター）を誘致するなど、富士山を臨む土地の特質を活かして、多くの人に訪れてもらえる

■納園と呼ばれた農業地区としての歴史を活かしたい。	3040201
■地区にある多くの寺や庭園は貴重な地域資源であり、活用できるものだと思う。	3040202
■原地区から見える富士山や松原の景観がすばらしい。	3040301
■観光施設整備、周辺地域との連携やPR戦略などにより、新たな魅力づくりを図れると良い。	3050302
■地域には観光資源となる場所が多くあり、それらを活かした観光によるまちづくりを進めたい。	3050304
■観光資源としての活用を考えた上でも、自然環境の保全は重要だと思う。	3040402
■富士山の元祖と言える愛鷹山を望むこの地域に富士山世界遺産センターを誘致できると良い。	3010404
■地域の宝である寺や街並み、景観を守るだけでなく、積極的に活用することで地域振興に結び付けたい。	3040302

2-2 広域から人を呼び込む

- ・交通アクセスを活かして、広域から多くの人に来てもらえる

■新東名サービスエリアの活用やスマートインターの設置、東駿河湾環状道路の延伸などにより、交通の要衝として人が流れてくる整備をしてはどうか。	3020101
■新東名の効果を活かしたまちづくりをする必要がある。	3050401
■原駅と新東名のスマートインターチェンジを結び、まちの玄関口にふさわしいアクセス性を持たせたい。	3020103
■地区内の観光地を回遊できる様に、地区内の観光資源へのアクセス性を向上させてほしい。	3050301
■県外からも若者などが多くの人が集まる活気のあるまちにしたい。	3010207

2-3 賑わいを生む仕掛けを

- ・健康や文化に関わる施設（健康文化タウンなど）や、文化施設や教育施設などの人が集まる施設を中心に賑わう
- ・地域の農産物など特産品を目当てに多くの人が集まる

■健康文化タウン等の整備により、地区の活性化を図ってはどうか。	3010203
■病院などの誘致によって医療、健康のまちとして活性化できないか。	3010403
■高校、展示会やコンサートが開催できる施設など、教育、文化施設が整備できると良い。	3010401
■貨物駅を他地区へ移転し、貨物駅として買収済みの土地は福祉施設やリサイクル施設など、他の利用方法を考えれば良い。	3070103
■貨物駅の整備をきっかけに、道路整備や施設誘致などが行われ地域の活性化に結び付けば良い。	3070102
■原地区が「健康文化タウン」として、静岡県東部だけでなく広域の健康と福祉に貢献できる様なまちになると良い。	3010101
■地域の特産品を販売できる道の駅の整備による観光の活性化に期待している。	3050303

3. 地域に活力を（産業・雇用）

3-1 商業に活力を

- ・原駅の周辺に商店が集まり、地域の商業が活性化する

■地元の商業が衰退している。	3050201
■高齢者の利便性の確保や賑わい形成のために、郊外だけでなく駅周辺に小売店舗が必要だと思う。	3050202

3-2 産業が集積し雇用を生み出す

- ・医療や健康に関わる産業が集まり、活力や雇用が生まれる
- ・自然や景観資源、農のある暮らしと共存できるような産業が集まる

■環境を守るだけでなく、原地区にも産業や社会基盤施設の整備が必要だ。	3010402
■病院や高齢者のための施設などの誘致によって医療、健康のまちとして活性化できないか。	3010403
■工場や店舗、医療介護系の施設などの誘致によって雇用が創出され、定住人口が増えることを期待している。	3050403
■地域の活性化や雇用創出につながる道の駅ができるとうい。	3050104
■自然や農地を残し、商工業や農業がバランスよく共存するまちを目指したい。	3050103
■幹線道路沿いに新しい技術を使った農業ベースの工業などを誘致することで地域を発展させ、雇用の確保にもつなげたい。	3050402

3-3 「農」に関わる地域の文脈を活かして

- ・耕作放棄地や不法投棄の問題が解消される
- ・納園など「農」に関わる地域の歴史的な文脈を大切にしたい
- ・農業や農地を介した地域間・世代間の交流が盛んになる

■耕作放棄地の対策を考えてほしい。	3030001
■開発によって農地が無くなったり、荒らされてしまうことが残念だ。	3030502
■農業が成り立ちにくくなる状況を踏まえると、農地を集約させながら保全する必要があるのではないか。	3030503
■後継者がいないなどの理由で農業が続けられなく人が増えることへの対策として、農地を集約し、体験農場や市民農園といった形で存続させることを考えてはどうか。	3050102

4. 広域も南北も移動しやすく（交通）

4-1 広域からのアクセスのよい地域に

- ・新東名サービスエリアやスマートインターチェンジ、東駿河湾環状道路とのアクセスがよくなる

■新東名サービスエリアの活用やスマートインターの設置、東駿河湾環状道路の延伸などにより、交通の要衝として人が流れてくる整備をしてはどうか。	3020101
■貨物駅ができて交通の結節点となれば、原のポテンシャルが上がるのではないか。	3020102
■原駅と新東名のスマートインターチェンジを結び、まちの玄関口にふさわしいアクセス性を持たせたい。	3020103

4-2 地域内を安全で快適に移動したい

- ・南北方向など必要な道路が整備され、自動車も歩行者も、地区内を安全で便利に移動できる
- ・踏切での遮断が心配
- ・原駅では線路を挟んで歩行者が楽に移動できる

■新東名サービスエリアの活用やスマートインターの設置、東駿河湾環状道路の延伸などにより、交通の要衝として人が流れてくる整備をしてはどうか。	3020101
■南北の行き来を円滑するための道路が必要ではないか。	3020301
■貨物駅の整備をきっかけに、道路整備や施設誘致などが行われ地域の活性化に結び付けば良い。	3070102
■社会資本整備として、道路整備は必要ではないか。	3020201
■原地区の道路は道幅狭いため、通れなかったり運転するのが怖い箇所があるので、住民のための道路整備を進めてほしい。	3020202
■住民にとっても来訪者にとってもわかりやすい道路ネットワークを充実させたい。	3020203
■渋滞解消や安全性の確保のために、根方バイパス早くを整備してほしい。	3020204
■道幅が狭い道路は、通学の際などに歩行者にとって危険なので整備してほしい。	3020402
■貨物駅移転によって踏切の待ち時間が長くなるのではないかと心配だ。	3020403
■貨物駅移転によって、踏切による南北交通への支障が出たり、コンテナが津波で流される等、生活の利便性や安全性が脅かされることが心配だ。	3070202
■原駅の橋上駅化、南北通路や南口の整備などにより、歩行者が駅の南北を容易に移動できる様にしてほしい。	3020401

4-3 公共交通が便利に使える

- ・車がなくても便利に地域を移動できる公共交通網がある

■浮島地区には最寄駅といえるものが無く、バスなどの公共交通も整備されていないため、自動車が利用できないと移動が大変不便だ。	3020501
---	---------

5. 水害にも津波にも強い地域に（防災）

5-1 災害リスクに備えたい

- ・治水対策が施され、水害の心配なく安心して暮らせる
- ・地震や津波、液状化への対策がなされ、安心できる

■原地区ではまず治水対策を早急に行ってほしい。	3060201
■地区にとって深刻な問題である水害対策のために、放水路の整備を早く進めて欲しい。	3060202
■津波に対する対策を充実してほしい。	3060101
■この地区は地盤が良くないので地震の際に液状化するのではないかと心配だ。	3060102
■貨物駅が移転してくると、避難可能な駅舎や高台公園等の整備ができないのではないかと不安である。	3060302

5-2 いざ災害が起きたら避難できる

- ・津波など大規模災害時の避難路や避難場所が確保されて安心できる

■避難路や避難場所の整備が必要である。	3060301
---------------------	---------

5-3 安心・安全で選ばれる地域に

- ・減災対策や避難対策がなされ、安心して暮らし、また、働き続けられる
- ・観光や仕事でも安心して訪れることができ、移住したい地域としても認識される

■災害対策がしっかりしていないと、人口を増やしたり、観光地として多くの人に訪れてもらったり、企業を誘致することが出来ないと思う。	3060103
--	---------

4. 進め方に関する課題の整理

1. PIの目的を明確に (PIの目的)

- ・ 何のためのPIなのかを明確に
- ・ これまで積み重ねてきた経緯を尊重して

■PIは計画段階で行うものではないのか。既に事業が進んでいる中でPIを行う必要があるのか疑問である。PIをやる目的がわからない。	4010101
■PIで掲げている結論がイメージできない。	4010102
■鉄道高架をすることを前提としてPIを進めるのであれば、PIを行う意味がない。PIプロジェクトは高架ありきで進めてほしくない。	4010502
■事業が実施されているなかで、勉強会で議論をする必要があるのかわからない。	4020403
■勉強会が高架ありきで話し合う、ガス抜きのための場だとしたら出る意味がない。	4020405
■勉強会で何を議論するのか、勉強会の位置付けがわからない。	4020407
■民意はまとまっているので、いまさら透明性を言う必要があるのか疑問だ。	4010201
■PIはこれまで積み重ねてきた議論を尊重しておらず、おかしいのではないか。	4010501
■鉄道及び貨物関連事業者としては、県が策定した事業計画に同意している。計画の変更がある場合には、改めて協議されるものと認識している。	4010003
■議会での議論や都市計画決定など、これまでの経緯があるので、事業を進めてほしい。	1050503

2. 解決に向けて (対話の効果)

- ・ 様々な立場の人の意見を聞いたり、集まって話し合うことは有意義だ
- ・ 地域を二分してしまうことが心配

■車座談議で問題点を語り合うことができ良かった。できれば、様々な立場の人の意見を聞きたい。	4020304
■車座談議で問題点を語り合うことができ良かった。できれば、様々な立場の人の意見を聞きたい。	4020304
■小さな意見でも取り上げられる意見交換しやすい方法だ	4020305
■地域の声や状況を把握してもらおう場として、車座談議で立場を気にせず腹を割って話したい。	4020301
■勉強会は、様々な立場の人が、議論する場であり、合意形成を図る上で有効であると思われるので、是非開催していただきたい。	4020401
■問題意識の共有や将来のまちづくりについての議論を行い、意見を集約するためには勉強会を開催することが重要だと思う。	4020404
■勉強会には個人と組織の代表と、どちらの立場で参加すれば良いのか迷う。組織の代表という立場で話すのではなく、個人として話す場にする方が良いのではないか。	4020408
■立場の異なる人々が一堂に会して落とし所を見つける必要がある	4010302
■どうやって合意形成を図っていくのかわからない。	4010301
■勉強会で議論しても意見の対立はなくなる。それどころか更に対立を深めるだけではないか。	4020406
■貨物駅移転に対する考えはいろいろある。	3070101
■全員の意見が一致することはありえない。PIをやって更にまた時間をかけず、多数決などの方法で決定して進めてほしい。	4010701
■賛否で住民の対立を生む貨物駅移転は、他の移転先を探すなど、計画を見直してほしい。	1050405
■地域に対立の種をもたらす様な計画は望まない。	3070401
■高架化についての市民の合意形成を図るのは難しいのではないかと思います。	2070102

3. 公正で着実な議論を（検討プロセス）

- ・ 議論の前提やポイントを明確に
- ・ どんな地域にしたいかから議論を
- ・ 議論が長引くことが心配
- ・ 透明・公正に進めて
- ・ 事業の目的やねらいを分かりやすく正確に情報提供を

■ P I の中で「目標設定」する以前に、そもそも鉄道高架、周辺区画整理事業の目的が示されていない。	4010401
■ ステップ3にある貨物駅の移転は広域テーマではなく原地区のテーマではないか。	4010402
■ 車座談議は、議論のポイントを示して意見を求めるべきではないか。	4020302
■ 貨物駅移転と鉄道高架化は別の問題として分けて考えた方がよい。	1050406
■ 社会情勢や財政状況が変化している。今実施すべきか見直してほしい。	1050504
■ 高架化すればまちが活性化するわけではないと思う。何を目指し、なぜその事業が必要なのかを明確にする必要がある。	2010202
■ 時代の変化を捉えてどういうまちづくりにしたいか目的を明確にするところから議論したい。	4010403
■ ゼロベースからまちづくり全体について考えることが必要ではないか。	4010503
■ 沼津の活性化にとって本当に必要なことを考えてほしい。	2060101
■ この問題についてまちづくりから考えることは重要だ。市民の意見を反映させ、沼津高架 P I プロジェクトが失敗しないようがんばってもらいたい。	4010002
■ ステップ2が遅れているが、プロセスをきちんと踏んで進めてもらいたい。	4010404
■ 既に次の事業ステップに進む時期になっていると思う。いろいろな意見に振り回されて、現況で設定している意思決定の時期をすれ込ませるようなことはしないでほしい。	4010601
■ 進捗状況が住民に分かるように進めるべきだ	4010202
■ 検討プロセスの透明性・公平性を保ってほしい	4010203
■ 出された意見は発言者の趣旨に沿った形で取り扱ってほしい。	4020202
■ 車座談議や勉強会などで出された発言は、発言者の確認を取った上で正確に記録を残しておいてほしい。	4020203
■ 車座談議は公開で行った方がよいのではないか。	4020303
■ 合同勉強会はホール等の大きな会場で、公開で実施してほしい。	4020402
■ 勉強会での質問には出来るだけ対応し、検討内容は県が責任を持って公開してほしい。	4020409
■ 事業費が大きく、沼津市の負担が多すぎないか不安である。事業費、費用負担、補助金の仕組みなど、正確な情報を示してほしい。	1050201
■ 事業概要や事業メリットについて分かりやすい説明や PR が必要だ。	2060301
■ 高架事業の目的と意義、必要性、効果などについて納得できる説明がされていない。それらをきちんと示してほしい。	2060302
■ 高架事業に対する知識や関心もあまりないので、事業の是非を考えるのが難しい。	2060313
■ 駅北の再開発事業がどのような事業なのか分からない。PR が不足している。	2060502
■ 総合整備事業の目的やメリットが示されていない。事業の目的を明確にして説明してほしい。	1050102
■ 貨物駅の必要性を明確に示してほしい。	1050401
■ 高架事業の目的やメリット、進捗状況をもっと市民に説明してほしい。	4020101
■ P I の取り組みの PR が不足している。	4020102
■ 現況で答えられる質問は保留せず、すぐに準備して回答してほしい。	4020103
■ バブリックコメントへの評価が全くされていないのは何故か。	4020104
■ 市民から得た意見は冊子などにして公開してほしい。	4020105
■ 冊子などで意見を公表する際には、誤った先入観を与えるようなまとめ方はしないでほしい。	4020106
■ P I の記録は全て公開しなくてもよいのではないか。	4020107
■ 情報を増やす、オープンハウスのパネルに図や写真を多くするなどの工夫をして、分かりやすい情報提供をしてほしい。	4020108
■ オープンハウスの様に事業の情報をわかりやすく知らせ、意見を集めることは良いことだ。	4020109

■ 模型やパネルなどによる情報提供はわかりやすく、計画をイメージするのに役立つ。	4020110
■ 勉強会での質問には出来るだけ対応し、検討内容は県が責任を持って公開してほしい。	4020409
■ 計画当初から大きく社会情勢が変化しており、鉄道高架事業の必要性はないのではないか。	2060309
■ 県内の他都市での高架事業の期間や事業費との比較をして、もっと分かりやすく説明してほしい。	1050602
■ 行政からの情報提供により自分の意見の視野が広がった	4020306
■ ニュースレターをもっと多く出してほしい	4020701

4. 幅広く意見を聴いて（検討体制）

- ・ PI 委員会は、活発な議論を通じて PI の進め方を監視して
- ・ ファシリテーターには、公正で中立的な立場から多くの人の意見を吸い上げてほしい
- ・ 幅広い市民や企業からの意見を聴いて

■ 健康文化タウン構想等の市民の提案やこれまで述べてきた考えを、PI 委員にしっかり伝えてほしい。	4020501
■ 委員会で何を到達点として議論しているのかが見えづらく、前向きな議論がなされていない印象を受けた。	4020502
■ 委員会は沼津市で、傍聴者も参加しやすい日程で開催してほしい。	4020503
■ PI 委員会とは、PI プロジェクトのすすめ方を議論する場ということが理解できた。	4020504
■ ファシリテーターは公正に選んでほしい。	4020601
■ ファシリテーターは、多くの人から意見を吸い上げていて良かった。	4020602
■ ファシリテーターは議論を中立的な立場で進めてほしい	4020603
■ 多くの一般市民の声を吸い上げるために、住民投票を行って決定するのが良い。	4010702
■ 有識者ではなく、地元詳しい人、地域の人を入れて検討してほしい。	4010801
■ 鉄道事業者にも PI に参加してもらおうほうが良いのではないか。	4010003
■ PI のように多くの意見を聞いて進めていくことは、市民の考えを伝えることができ、今まで知らなかった人も興味を持つので良いことだと思う。	4010001
■ 多くの人の意見を聞き総合的に判断してほしい。	4020201
■ 大学の先生や専門家などにも意見を聞いてほしい。	4020204
■ 主婦や若い世代を中心に幅広い年代の意見を聞いてほしい。	4020205
■ 「公開討論会」の開催を是非検討してほしい。	4020001

■ご意見・お問い合わせは 沼津高架 PI プロジェクト・PI 運営事務局まで■



- 郵送 〒410-0055 静岡県沼津市高島本町 1 番 3 号
静岡県沼津土木事務所 都市計画課内 PI 運営事務局
- FAX 055-926-5527
- メール numazu-pi@pref.shizuoka.lg.jp

URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/kouka/index.html>

TEL : 055-920-2222



沼津高架PI

